

1. 保育の計画（R1年度）

評価・反省・学年で各クラス毎に作品を考えそのクラスにあった物、興味を持っている事、少し難しいと

思われる物（挑戦してみようと思えるもの）を作ったりする事が出来ました。活動に戸惑いを持ちやすい子にも個別で声を掛け、対応するよう心掛けました。

- ・カリキュラムの絵本や遊びなど、出来なかったものがありました。また環境構成があまり変えられなかったと思います。
- ・互いの保育を見せ合う時間を設けることはなかったが加配の先生に相談し、検討・助言を生かす事が出来た。学年間での話合いについても時間が多く取れない中、互いに声を掛けあう努力は出来たと思う。
- ・遊び（特に戸外）の中で新しい遊びに取り組み、友達との関わりや異年齢との交流が出来るよう心掛けた。一方で室内遊びのマナー化が課題だと感じた。
- ・園の教育目標をよく考え豊かに想像し思いやりを持って人と関わるこの成長を育む為に、子どもの理解に努め、一人一人の状態にあった声かけ援助をしている。苦手な意識があることにも主体的に取り組めるようにきっかけ作り（製作や絵画・集団ゲーム）を大切にしたい保育をしている。
- ・さくら組全体として年間を通して戸外で十分に遊ぶことができた。鬼ごっこなどの集団遊び、手つなぎ鬼、変わり鬼など徐々にバリエーションを増やし、こどもたちだけでも遊びを広げていけるようになった。
- ・計画的に活動することはできていると思うが、振り返りができていない。
- ・子供たちが遊びたくするような環境構成はしているつもりでも、更にあるのではと思うこともあるので、園の教材を存分に使い子どもたちにとってより楽しい環境にしていきたい。
- ・学期ごとカリキュラムの見直し・反省をしっかり行うことで年間の計画に見直しをもって過ごすことができた。一方で週末3クラス揃って翌週の話し合いを行ったにもかかわらず、うまく連携が取れなかったり、行事（園外保育など）の準備が間近になってしまうこともあった。

（お助けマン）・主で保育することはなかったが、その分色々なクラスに入ることができ、先生方の保育の補助をしながら「ここは取り入れてみたいな」「真似してみよう！」と思う点をたくさん見つけることができました。

掲示板の壁面は、季節に合ったものを作るよう心掛けました。

- ・園の教育理念や方針について、忘れがちになっています。
- ・カリキュラム作りや指導計画には直接携わらないが、計画書には十分目を通し担任からはそのねらいを聞き、保育のねらいが達成できるよう補助に努めた。
- ・指導計画の作成には直接携わっていないが、支援が必要とされる子供たちについては、担任の先生とよく話し合っている。
- ・四季折々の自然物を使ったりして環境構成をしている。色々な所に目を配っている。
- ・園庭や園舎の環境整備に努め、子どもたちが安心・安全に遊ぶことができるようにした。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・子ども一人ひとりの興味を持っていることに気づき、その子にあった声かけをより心掛けたいです。ゆとりをもって関わっていけるように心掛けたいです。

- ・日々カリキュラムを見直したり、指導計画に活用させていきたいです。また、クラスによって行うことが異なったりしてしまうため、より連携を大切にしていきたいです。
 - ・特別時間を設けることができない中でも、工夫をして相談・伝達をしていく。
 - ・室内遊びの環境設定、マンネリ化。
 - ・壁面への意識が低く、季節に応じた環境設定が不十分であった。
 - ・今年度同様少しでも戸外に出て遊び、心と体を解放することを心掛け、片付けまで子どもたちと行って、物を大切に扱う心も指導していけたらと思っている。
 - ・活動の振り返りをし、次回の活動がより良いものになるようにする。
 - ・園にある教材をもっと知り、子どもたちの発展につなげていけるような準備をする。
 - ・翌週のこのことのみならず、月の計画を見直し、届け出など提出書類がないか必ず学年揃って確認する。
- また、流れを把握し見通しを持って保育できるように、3人揃って反省を行うようにする。

(お助けマン)

- ・先生方の保育を見て取り入れたい点を盛り込み、より良い保育ができるようにしたい。
- ・折に触れて教育理念や方針を再確認したいと思います。
- ・引き続き、たてられた指導計画が園の教育理念や方針に添うよう実践していく。
- ・支援が必要とされる子どもたちについて、職員全員で話し合う時間もたれるとよいのでは。環境構成がマンネリ化にならないようにする。
- ・引き続き環境整備に努め、子どもたちが季節の自然の中に触れながら、のびのび遊ぶことができるよう配慮していきたい。

2. 保育の有り方・こどもへの対応

(R1年度)

評価・反省

- ・物の貸し借りなどでの友達とのトラブルの際、手が出てしまうこの行動にすぐに対応できないこともあり、けがに至ることもありました。両者の気持ちに寄り添い安心できるようにかかわることで、落ち着いて園生活を過ごすことができるようになりました。
- ・一人ひとりの得意なことは褒め、自信につながるように！苦手なことに関しては手助けし、少しずつ出来るようになったら徐々に見守り、少しでも自分でできた！という感覚を持てるように、声掛けやサポートを心掛けました。
- ・志都呂幼稚園の魅力ある園庭を最大限に使って「けいどろ」をしたり、「かくれんぼ」をして子どもたちと遊びを深めることができた。子ども同士のかかわりを把握していた一方、こんなかわり・姿があったんだ！という発見もあり、保育者の知る関わりだけでなく子ども同士のやりとり・気付きも見られることができた。
- ・今年度は異年齢との関わりがとてたたくさんあった為、年長児が年上である自覚を強く持つことができたと思う。
- ・クラス単位で活動するのではなく、特に戸外遊びでは学年全体で関わりを大切にしている。
- ・登園した際一人ひとりを視診し、小さな傷や体調変化にすぐ気づけるよう意識している。
- ・子どもたち同士の関わりはクラス単位だけでなく、学年間でも交流を深めていけたことで理解することができたように思う。
- ・子ども一人ひとりに合わせた対応を心掛けているが、果たしてそれが本当にあっているのかどうか日々考察・反省することができた。
- ・1学期（4月当初）は自分に余裕がなく一人ひとりについて理解できていなかったが、少しずつ個々を理解しようと関わることができました。いつでも一人ひとりにあった対応を言葉がけをしていきたいです。

(お助けマン)

- ・小さな怪我でもすぐに園長先生に報告し、その後の対応を担当に伝えることができた。
ミーティングノートを活用することで、園全体を把握することができ、情報を共有できる。
- ・支援が必要な子供たちの日々の変わる心のケアをすぐに読み取ることの難しさがあるので、よく話を聞き寄り添っていきたい。
- ・フリーとして複数のクラスに入ることが多く、どちらかというと広く浅い関わりになりがちであった。
- ・遊具の不具合や破損などがないか、定期的に確認しなければと思います。
- ・「朝からこの傷あったっけ？」と思うことがあり、視診の甘さを感じました。クラスを抜けることも多く、子ども同士の関わりや興味を持っていることを把握しきれていなかったです。「～ってどういう意味？」と子どもに聞かれることもあり、言葉の選び方の難しさを感じました。

反省を基に来年度、改善・実行すること

- ・個々の発達や課題についてより考え、見通しをもてるようにしていきたいです。またその中で一人ひとりに対する引き出しや方法を学び、引き出しを多くしていきたいです。
- ・子ども一人ひとりの理解を深めるよう努める。
- ・時間に余裕がない時などに急ぎの声かけをしてしまうことがあったため、時間の使い方を常に大切にしていきたい。
- ・一人ひとりを理解し発達の状態なども把握しているつもりではあるが、困り感のある子への関わりで全員と密に関われているか反省はある。
- ・今後もののびのびと戸外であそび、健康な心・身体づくりをする。
- ・異年齢の交流でさくら組とはできなかったのが反省です。
- ・毎朝園庭での遊びがマンネリ化していたようにも思うため、サーキットの頻度を増やしたり、子供たちからのアイディアが増えるよう、常にアンテナを張り意識していく。
- ・日々あわただしい中でも子ども一人ひとりの話に耳を傾け、話を聞いて共感してもらえる喜びや人と話す楽しさを感じ、友達との積極的な関わりにつながっていくようサポートしたいです。
- ・子どもの行動をよく見て、どんな時にどんな行動になるのか、またどうかかわると気持ちが落ち着くのか、もっと理解していけるよう一人ひとりの様子を見ていきたいです。

(お助けマン)

- ・視診を徹底していきます。子どもたちが理解しやすい言葉で説明できるように、事前にどの言葉がけが良いか考えて話すようにしていきたいです。
- ・日時を決めて確認をする機会をもらったら良いと思います。
- ・担任が一人の子どもの個人的配慮にも十分に時間を割けるよう、時よりクラス全体の様子をフリーが見るなどチームティーチングを進めていく。
- ・じっくりと話を聞いてあげられるようにしていきたい。
情報共有をしっかりと、記述する事が大事であるのいでは。
- ・子供の情報をミーティングノートを紹介してではなく、後から知ることも多々あった。園全体で把握しておくべき情報は、しっかりミーティングノートに記入してほしい。

3. 保育者としての能力・良識・適正

(R1年度)

評価・反省

- ・職員のチームワーク・連携がよく取れていたと思う。楽しく、職員にとっても充実した園生活を送れていたと感じる。
- ・一つひとつの仕事を丁寧に行い、子供や保護者に対して明るく声をかけ、コミュニケーションをとり、様子をお伝えすることができました。
- ・挨拶・お礼の言葉をしっかりと言葉に出して伝えるよう心掛けました。困っている先生がいた際、知っていること・出来ることは援助するよう心掛けました。
- ・職員間はとても良い雰囲気の中で楽しく保育ができていると思う。いろいろなことに感謝の気持ちを持つことが出来た1年だった。
- ・整頓が苦手なので気を付けて行う。
- ・一人の人として素直で謙虚・前向きでいられるように心がけている。職場の雰囲気のため円滑なコミュニケーションを大切に一つのチームであることを常に同僚たちと意識している。
- ・朝の清掃などに出る際、遅れてしまうことがあった。
- ・保育者として社会人として自覚を持つよう心掛けた。
- ・保護者の方へ様子を伝えるとき、多く伝えられた方となかなかできなかった方ができてしまった。また行事の反省など周りを見て気づけるといいと思う。

(お助けマン)

- ・外来者・保護者に明るく挨拶を心掛け笑顔ですることができた。
始業時間ギリギリになってしまうことがあった。
- ・常に全体を見ているが時間に追われると整理整頓が疎かになるので気を付けたい。
- ・トイレや水回り廊下や保育室の棚など、気づいたときにこまめに清掃することで、清潔な環境を保つことに努めた。
- ・個人的には良識を持って勤務しているつもりです。
- ・1年目のクラスに入ることが多かったが、「つい出しやばりすぎたかな」「ここを事前にもう少し話しておけばよかったかな」と思うことも多く、後輩指導が出来ていたか不安です。
- ・時々体調を崩してしまう時がある。どうしても締め切りは守りたいので無理をしてしまう。思ったことをすぐ口で言ってしまう事がある。

(バス乗務員)

- ・冬休み中ではあるが、インフルエンザにかかってしまった。
- ・身だしなみには気を付けていますが、園服のほつれがなかなかおせないです。

- ・自らの健康管理ができなかったこと（インフルエンザ）
- ・不明な点について園長先生に報告・相談する。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・公共物を大切に扱うことこそが保育者として、こどもに多大に影響すると思う。
- ・何に対しても感謝の気持ちと明るさを持っていようと思います。
- ・今以上に明るく元気よく挨拶・感謝の気持ちを言葉で伝えていきたいと思います。
- ・自分のクラスだけでなく、共通スペースの整理や掃除など気付いた時には行っていきたいと思います。
- ・職員間での良い距離感を保ちながら、さらなる連携が取れるようにする。
学年を超えての子供の情報共有を継続して園全体で行っていく。
- ・なるべく一日の中で、一人ひとりのエピソードをメモで取り様子を忘れないようにして伝えていきたいです。また担当になった行事などはもっと自分から行動し、計画性をもって取り組んでいきたいです。
- ・引き続き自覚をもって行動したい。
- ・時間に余裕を持ち、見通しを持って保育の準備をしていく。
- ・保育者としての自覚を持ち、私生活でも人として正しく心豊かな言動を心掛けているが、整理整頓・提出物においてはルーズでだらしないので、来年こそは！気を付けたい。

（お助けマン）

- ・次の先を考えて仕事をしているので、一つ一つおろそかにできないことから仕事に時間と労力が増してしまっているが、工夫して体に無理が出ないようにメリハリをつけて取り組みたい。
- ・職員間でよいコミュニケーションをとりながら、節度ある関係を保っていききたいと思います。
- ・引き続き清潔な環境づくりをしていく。
- ・出来る時に速やかに動けるようにしていきたいです。
- ・常に5分前行動を頭において、余裕を持って行動できるようにする。
- ・困った時に助けるだけでなく、事前に気づいたときに一言声を掛けられるようにしていきたいです。

（バス乗務員）

- ・お裁縫があまり得意ではないのですが、頑張って縫います。時間は厳守していますが来年度はもう少し余裕を持つように早めに出勤したいです。
- ・気持ちも緩んでしまい、マスク使用を怠ってしまった事も原因だと思う。毎日同じことを継続するようにしたい。
- ・健康管理について自己責任として注意する。
- ・体の健康管理に気を付けて生活する。

4. 保護者への対応（R1年度年度）

評価・反省・クラスだよりでもっと発信できるようにする。

- ・今年度はクラスだよりの回数が少なかったのが反省です。しっかりとクラスの現状を発信できたと思います。
- ・クラスだよりでクラスの様子を伝えるよう心掛けたり、連絡帳・電話・お迎えの際に少しでも子どもの様子を伝えるよう心掛けました。
- ・保護者様から頂いたご意見や相談内容は園長先生や先生方と共有し、よりよい対応を心掛けました。
- ・子どもの様子を直接話したり、連絡帳にて伝えるよう努力した。今年度クラスだよりが自分的に枚数が少なかったと感じた。その分、ブログや掲示板での伝え方をしっかり行った。
- ・今一度保護者様に様子を伝えるのが不十分ではと思われる子もいた。また、ブログやクラスだよりは園外保育の時の様子等が多くなってしまっていました。
- ・子供に様子で気になったことは個別に連絡を取り、密に連携するよう心掛けた。
- ・報告・連絡・相談はしっかりと行うことができた。
- ・子どもの理解に努め、その子の育ちのためにどんな援助・支援が大切かを見通し保育している。また、家庭と常に連絡を取り合い保護者・保育士の信頼関係を築き必要な配慮を互いにできるようにしている。

（お助けマン）

- ・とにかく常に笑顔で対応することを心掛け、相手の話にはまず、共感するようにしている。
- ・報告・相談・連絡は、当然のことだと思います。
- ・直接、保護者と関わることは少なかったが、連絡帳や担任からの伝達で、個々の家庭の様子を把握するよう努めた。
- ・保護者様からの要望・クレームなどあったときは直ぐに園長先生に報告している。
- ・子供の様子や成長をお迎えに来た時など、直接保護者に伝えるよう努めた。保護者からの伝言は、直ぐ園長先生に伝えた。
- ・担任の先生に代わりクラスに入った際は、どんな様子であったか報告するように心がけました。ICT導入のおかげで送迎・欠席のミスがとても減ったように感じています。

（バス乗務員）

- ・担任から伝言を頼まれたのに忘れてしまったことがあり、後から電話で伝えたことがある。
- ・バスの乗降の時など保護者より行事についての質問がよくあるが、クラスだよりをもらい忘れていて答えられない時もあった。
- ・保護者からの訴え、子供の様子などをしっかり確認する。
- ・自分なりにわかることは、保護者へ対応した。

反省を基に来年度実行・改善すること・

- ・来年度も引き続き報告・連絡・相談を大切にしていく。
- ・引き続き務めていく。
- ・一人ひとりのエピソードをより伝え、その中で自分がどう感じたのか（担任が見た成長のポイントなど）もより伝えていきたいです。クラスだよりなどでも、事実だけでなく、思いも伝えていきたいです。
- ・子どもたちの様子を行事などに関わるクラスだよりのみならず、良いことがあったら発信などして、保護者の方がどんな園生活を送っているのか常に理解できるようにする。
- ・小さな怪我などにもつながらないように、子ども同士の関わりにより目を向け、保護者の方に心配をおかけしないよう、様子をお伝えしていきたいです。
- ・お迎えの際、挨拶だけではなく、クラスの子以外でも一言エピソードを言ってコミュニケーションをとれるよう心掛けたいです。
- ・今後も保護者様との信頼関係をしっかり築いていく。
- ・子どもの成長を文字にし、発信していく。

（お助けマン）

- ・これからも伝達漏れのないように、職員間での情報共有を行っていきたい。
- ・保護者からの信頼や伝言は必ずメモを取り、的確に伝え忘れないようにする。
- ・何かあったときにノートにかいていくと全員に周知できるのでは。いつ・何がどうした・改善策など。
- ・園行事や送迎の際なるべく声をかけ、保護者の顔を覚え信頼関係ができるようにしていく。
- ・引き続き保護者への対応を、よりよいものにしていきたいです。
- ・保育料の無償化・預かり保育・給食の福利費等、保護者が不安に思っていることには、よく勉強し丁寧に説明するよう心掛ける。

（バス乗務員）

- ・忘れないようにメモを取りたいと思います。
- ・月毎のお便りなど自分から率先してもらい、事前に理解しておくようにしたい。
- ・クレーム等がないように対応する。
- ・常に園長先生などに相談・報告をする。

5. 地域の自然や社会との関わり

(R1年度)

評価・反省 ・的確にスムーズに伝えられなかったことがあった。

- ・すくすく教室では、自分の出し物を覚えていてくれる子もいてインパクトを残すことができてうれしく感じた。
- ・すくすく教室の際、子供たちがやってみたい、わくわくするというものづくりを考え、材料準備も心掛けました。
- ・無償化に伴う預かり保育の際の認定等について、自信をもって答えることが出来ず、事務を頼ってしまいました。
- ・園内の来場者のみならず歩きコースなどですれ違った方など、挨拶するよう心掛けた。
- ・まだわからないこともあり、一度先輩の先生方に聞くことができました。
(すくすくの時など)
- ・今年度はあまり機会がなかったが、地域の方への対応は丁寧にするよう心掛けた。。
- ・まだ自分一人では確実に説明することが出来ない事もある。
- ・老人施設への訪問や民生委員の方の来園を大切な機会と捉え、園のすばらしさを伝えられるような活動を考え実行している。志都呂幼稚園の良さをみんなに知ってもらえるよう、園の自然教育目標や方針はよく理解しつたえられるようにしている。

(お助けマン)

- ・園に来た方・業者・地域の方にも、明るく笑顔で対応したい。
- ・自分なりの対応できていると思います。
- ・行事の細かい日程や事務的手続き等、その場で答えられないことは即答せず担当者に引き継いだ。
- ・聞かれたときは、きちんと対応するようにしている。
- ・送迎時に会った地域の方や園の見学者の方に、明るい挨拶・会話を心掛けた。
- ・昨年よりは電話で答えることができたと思いますが、まだまだ答えられないことも多く反省です。
- ・質問されたときに正しく伝えることができず、他の職員に聞くことが多い。
- ・普段、園に居ないのでわからないことが多いです。誰にでも挨拶する事

だけは忘れないようにしています。

- ・園に対する質問・要望を的確に伝えることができるように、報告・連絡をする。
- ・保護者等に、積極的な挨拶を行った。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・今年は思うようにクラスだよりを出せなかったことが大いに反省なため、来年はクラスだより書きます！！
- ・園への理解をより一層深め、志都呂幼稚園の魅力を伝えていけるようにしたい。
- ・引き続き務めていく。
- ・正しいことを伝えるため、分からないことは確認を取り少しずつ答えられることが増えるよう頭に入れていきます。また、書面でのお知らせはなるべく早く読み込み覚え、保護者の方にすぐに答えられるようにしたいです。
- ・職員が挨拶を意識している中、子どもたちからの挨拶がうまく引き出せなかったため、挨拶の必要性や意味を伝え、気持ちの良い挨拶が出来るようにする。
- ・無償化のことについてや他の学年の行事についてもしっかり把握し、答えられるようにしていきたいです。
- ・園のことを尋ねられた際に分かりやすく丁寧に伝えたり、パンフレット・メモなども活用して伝えられるよう心掛けたいです。。
- ・電話対応でどんなことでもしっかり的確に答えられるようにしていく。
- ・質問されそうな事を、確実に覚える。

(お助けマン)

- ・電話対応は園の顔になるということを意識し、丁寧に行っていきたいです。
すくすく教室では、色々な種類の出し物にチャレンジしていきたいです。
- ・見学者や電話などでの問合せに的確に対応できるよう、知識を豊富にしていく。
- ・相手によくわかるよう、お話ししていきたいです。
- ・引き続き相手の要件を的確に聞き、対応する。
- ・徒歩コースなどで地域の方々と触れ合うことが多いので、明るく元気な挨拶をこれからも実践していきたいです。
- ・自らの会話のボキャブラリが不足している点は常に感じています。適切な会話が積極的にできるよう、本を読むなどもっと勉強しないとと感じている。

(バス乗務員)

- ・気になる事・分からない事があればその都度すぐに質問したり、もう一度幼稚園のしおりを読み返したりしたいと思います。

- ・自信を持って答えられるよう、しっかり勉強する。理解しないままの対応は絶対にしないようにする。
 - ・挨拶や笑顔の対応に心掛けて実施する。
 - ・積極的な挨拶や会話を心掛ける。
-

6. 研修と研究(R1年度)

評価・反省・研修報告で学んだことを、子どもたち・自分の為にしっかり生かしていきたいと思う。

- ・私は志都呂幼稚園が大好きです。この園に努めていることに誇りをもって保育をしています。この素晴らしい園と自慢の職員・四季折々の変化で恵みを与えてくれる自然を全国に知ってもらいたくて、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構で実施している ECEQ（公開保育を活用した幼児教育の質向上システム）にも積極的に参加し、浜松市子育て支援事業でも推進している支援に対するアセスメント事業にも積極的に取り組んでいます。様々な取り組みの中で学ぶことが本当に多く、保育士としての意識と質の向上につながっているように感じます。実践に生かすことで子供たちにとっても、良い保育の展開を提供でき、今後も積極的に研修や自己研鑽に励みたいと思います。
- ・研修報告などで伝えていただいた知識を自分の保育に取り入れるなど、前向きに研修・研究に取り組めたが、自らではなく園から動くことが多かった。
- ・研修や様々なメディアを用いて、保育に生かせることは何か自身で考え、取り入れることができた。
- ・研修で学んだことはたくさんあったが、あまり実践したり取り入れることができなかった。折角知識を得ることができたのだから、まずは一度挑戦してみたいです。また、教材など新しいものに進んで取り組んでいきたいです。
- ・保育者間で研修内容を伝達しあい、保育に活用するなど努力した。保育雑誌を見る頻度が少なかった為、常にアンテナを張って保育に生かしたい。
- ・今年度は ECEQ で他の園の先生方から沢山のご意見をいただき、戸外での活動が（自由遊び）長い分、遊びがマンネリ化しないよう教えていただいた遊びを取り入れることができました。
- ・ECEQ の際、他園の先生方からアドバイスをいただき、その時いただいたアドバイスを保育に活用するよう心掛けました。アレルギーについてもその都度、その年度に合った対応で園内研修が出来るよう心掛けました。
- ・研修で学んだすべてのことを保育で生かしているのか、反省しました。

（お助けマン）

- ・発達支援などの研修には、できるだけ参加するようにしています。
 - ・ECEQ 公開保育を実施することで、自園のこと・自身の保育のことを、改めて深く見つめなおす機会となった。逆に他園の先生方の意見を聞くことで、俯瞰的な見方にも気づかされた。
- 浜私幼夏の教員研修会に参加し、子どもの表現や言葉を大切にする保育・発達支援・保護者支援を学んだ。
- ・研修に参加し多くのことを学び実践していくよう心掛けている。
 - ・休日の研修に自主的に参加することは難しかった。研修報告書にきちんと目を通し、わからないところはそのままにせず、質問するよう心掛けた。

- ・担任をしていた去年に比べると、保育雑誌を読む機会が減っていたなと思い反省です。研修は学ばせていただくことが多く、自分の保育に取り入れていきたいと思います。
 - ・事務職ですが保育の知識が必要なので、基本の専門書を購入したが読み込む努力が足りないと感じている。
- 無償化等、今年度は新しい仕事が増え余裕がない。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・研修に前向きに参加し、学んだことを保育に生かしていく。
- ・発達が気になる子供たちに合ったかかわり方をより学んだり、その子供たちの心の動きなどより知っていくための保護者とのかかわり方を知っていきたいです。
- ・いつでも「学ぶ心」を忘れず研修だけでなく先生方の日ごろの保育から良いところを学び、取り入れたり教材研究をしていききたいです。
- ・子どもの発達を理解し一人ひとりに合った制作方法や伝え方をしていく。研修で学んだことを日々の保育でより生かすことができるよう、研修報告書の見直しをし、充実した保育活動ができるようにする。
- ・研修でわからない単語・部分があったら自分で調べ、より深く理解していきたいです。
- ・また、学んだことを実践し、その結果どうだったのかそのままにせず反省を忘れずに行います。
- ・新しい情報にも、前向きな姿勢で取り入れるよう努める。
- ・自分から積極的に情報を集め、保育にいかせるようにしていきたい。
- ・同じ内容だから参加しなくてもいいかなと甘えの気持ちが出てしまったのが反省。来年もたくさん研修に出たいです。
- ・子供たちにより良い環境を与えられるように、努力をしていきたいと思います。

(お助けマン)

- ・保育雑誌を読んだり教材研究をして、遊びの幅を広げていきたいです。
子どもたちが主体的になって遊べる活動を常に考え、実行できるようにしたいです。
- ・研修にできる限り参加したり、保育雑誌を読んだりして知識を少しでも増やしたい。
- ・研修に行ったら直ぐに、実践できることは職員全員に伝えたいです。
- ・ECEQで分かった自園の得意分野を生かし、さらに質の高い保育が実践できるよう努めていく。
- ・時代とともに保育の考え方も変化していくので、常に新しい保育観を学んでいきたいと思っています。
- ・こなさなければならない仕事の量が増え、知識が薄っぺらいと常に感じている。もっと深く勉強し、プロフェッショナルを目指したい。
- ・わからない点は人に聞き、不明な点をそのままにしておかない。

安全な運転・業務について

評価・反省

- ・車内の清掃は運転手さんに任せているところもありますが、ごみが落ちてたら拾うようにしているが、後回しにして忘れてしまうことがあった。
- ・車内の座席表などを置くかごの中の整頓ができていない。
- ・予測運転を実施。急減速・急加速にならないよう注意。
- ・一年安全に運行できたと思う。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・自分で出来る清掃は行うように心がけたいです。来年度も子どもの安全を第一に考えていきたいと思っています。
- ・学期末に行っているが、毎日きれいに保てるよう心掛けたい。
- ・健康管理に注意する。車内・周囲の再確認と無理のない運転。
- ・安全・安心・楽しくを心掛け運転・乗車・業務する。